

マクロの
基礎知識 1VBAの
基礎知識 2プログラミングの
基礎知識 3

セルの操作 4

ワークシートの
操作 5Excelファイルの
操作 6高度な
ファイルの操作 7ウィンドウの
操作 8リストの
データ操作 9

印刷 10

図形の操作 11

グラフの操作 12

コントロール
の使用 13外部アプリケーション
の操作 14

VBA関数 15

そのほかの操作 16

付録

```

1 Sub CSVファイル書き込み()
2   Dim myFSO As New FileSystemObject
3   Dim myTextFile As TextStream
4   Dim myStockData(3) As String
5   Dim i As Integer
6   Set myTextFile = myFSO.OpenTextFile _
7     ("C:¥データ¥仕入データ.csv", ForWriting)
8   Worksheets("仕入データ").Activate
9   i = 2
10  Do Until Cells(i, 1).Value = ""
11    myStockData(0) = Cells(i, 1).Value
12    myStockData(1) = Cells(i, 2).Value
13    myStockData(2) = Cells(i, 3).Value
14    myStockData(3) = Cells(i, 4).Value
15    myTextFile.WriteLine Text:=Join(myStockData, ",")
16    i = i + 1
17  Loop
18 End Sub

```

注「_ (行継続文字)」の部分は、次の行と続けて入力することもできます→103ページ参照

- 1 [CSVファイル書き込み] というマクロを記述する
- 2 FileSystemObject型の変数myFSOを宣言する
- 3 TextStream型の変数myTextFileを宣言する
- 4 文字列型の配列変数（要素数は4）myStockDataを宣言する
- 5 整数型の変数iを宣言する
- 6 Cドライブの[データ]フォルダ内にある[仕入データ.csv]ファイルを書き込み専用モード（シーケンシャル出力モード）で開いて変数myTextFileに格納する
- 7 [仕入データ]シートをアクティブにする
- 8 変数iに2を格納する
- 9 i行め、1列めのセルの値が「」（長さ0の文字列）になるまで以下の処理をくり返す（Do Untilステートメントの開始）
- 10 配列変数myStockDataの0番めの要素にi行め、1列めのセルの値を格納する
- 11 配列変数myStockDataの1番めの要素にi行め、2列めのセルの値を格納する
- 12 配列変数myStockDataの2番めの要素にi行め、3列めのセルの値を格納する
- 13 配列変数myStockDataの3番めの要素にi行め、4列めのセルの値を格納する
- 14 配列変数myStockDataの各要素を「,（カンマ）」で結合した文字列と改行文字を、変数myTextFileに格納されているTextStreamオブジェクトに書き込む
- 15 変数iに1を足す
- 16 9行めに戻る
- 17 変数myTextFileに格納されていたTextStreamオブジェクトを閉じる
- 18 マクロの記述を終了する

1	A	B	C	D	E	F
1	仕入データ					
2	日付	仕入先名	商品名	数量		
3	2007/8/1	株式会社でっかい堂	デスクトップパソコン	10		
4	2007/8/1	ZONY株式会社	ノートパソコン	5		
5	2007/8/2	株式会社EPRON	プリンタ	4		
6	2007/8/2	有限会社ベストブライス	デジタルカメラ	3		
7	2007/8/30	株式会社でっかい堂	デスクトップパソコン	2		
8						

【仕入データ】シートの内容を【仕入データ.csv】ファイルに書き込む